

船橋市立医療センターNews No.30

●発行年月日/平成28年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「コキアの丘」当院職員撮影



核家族化と超高齢社会

船橋市立医療センター院長 高原 善治

超高齢社会となり核家族化が進行してきている今、また今後においても、病院に入院して病気が快復してきたとしても、退院先や退院後の生活環境などの理由で、すぐに退院できない場合が起こっています。一方、患者さん自身が一日も早く自宅に戻りたいという思いがあります。また、当院のような高度急性期病院を有効利用することや、医療費の節減の必要もあります。

そこで当院では退院を円滑に進めていくために、退院調整看護師を5年前から配置しています。入院時から患者さんに関わり、担当医だけでなく、ご家族や地域の診療医、訪問看護師やケアマネージャーさんと連絡を取り合って連携しながら退院を進めています。また、退院調整作業を密に行うために今年度からは各病棟にも退院支援看護師を配置し効率化を図っています。今後も重要な病院の機能の一つとして充実させていきたいと思っています。

また、今年度も8月28日に船橋市総合防災訓練が行われました。千葉県によれば、船橋地域は今後30年以内に70%の確率で直下型地震が発生するとされています。当院でも毎年のことですが防災訓練を行いました。今年度は前年度までは事前に設営していたトリアージブースを設営するところから訓練に入りました。また消防局の協力により重症患者さんの他院への搬出訓練も行いました。今後も今回の訓練を基に防災体制の改善を行い、万一の場合に備える所存です。

目次

特集 退院調整看護師の奮闘記……………	2～3	防災訓練／公開医療講座……………	6
西図書館とコラボレーション！／納涼会……………	4	救命救急センターの現場から／お知らせ……………	7
当院で働く人々／研修医のつぶやき……………	5	外来担当医師一覧表……………	8

特集 退院調整看護師の奮闘記

医療連携・患者支援センター地域医療連携室 退院調整看護師 稲垣 麦野

当院の退院調整看護師は病棟の退院支援看護師をはじめとする様々な職種のスタッフと連携しながら、患者さんが安心して退院し、日常生活を送れるよう、退院後の生活に向けたサポートを行っています。今回は、退院調整看護師が患者さんとどのように関わっているかなど、ある日の仕事内容を紹介します。

退院調整看護師とは？

退院調整看護師は、前回の「船橋市立医療センター News No.29」で特集された「医療連携・患者支援センター」内の「地域医療連携室」に所属し、活動しています。

私たちは、「どこに退院をして、退院後の生活をどうするか」を患者さん、ご家族と一緒に相談しながら決めていくお手伝いをしています。患者さん一人ひとりのために医師や看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士など院内の様々な職員と協働して退院に向けた支援を行っています。地域の訪問診療医や訪問看護師、ケアマネージャーさん等と密に連絡を取りながら退院後の生活に向けた準備を進めていきます。

病棟に退院支援看護師を配置

入院前や入院直後から退院について考えることは難しいかもしれませんが、今年5月から、各病棟に退院支援看護師が配置されました。今まで以上に密な対応・相談が可能になりましたので、お気軽にご相談ください。

「退院調整看護師と退院支援看護師の違いは？」と思う方もおられるかもしれません。

退院調整看護師は、外来患者さんへの支援、入院患者さんへの支援以外に、退院支援看護師への教育的支援を行っています。退院支援看護師は、病棟所属で退院支援に専従している看護師です。患者さんの入院直後から、面談をさせていただき、不安なく、安心して退院を迎えられるようお手伝いしています。

また、入院前より関わってもらっているケアマネージャーさんや訪問看護師さんが、入院した患者さんに会いに来院された際には、患者さんの生活状況等、色々と教えていただくことも多々あります。とても助けられております。

新たな取り組みを開始

今年度より退院前訪問指導、退院後訪問指導の体制が整いました。例えばチューブ類がつながったまま退院する患者さんのように、退院後も医療処置が必要な患者さんが安心してご自宅での生活が継続できるよう、退院直後の一定期間、当院の看護師が自宅へ訪問し指導を行うことができるようになりました。

退院調整看護師の1日

こんな日々を過ごしています

- 8:30 業務開始
8:45 地域医療連携室内での打ち合わせ
9:30 病棟所属の退院支援看護師との打ち合わせ

困っていることはないか?どうするとよい? それ以外にも緊急入院、転棟予定の方の情報交換等相談しながら活動をしています。

- 10:30 退院した患者さんAさん宅への訪問指導へ出発

入院期間も短く、不安なく家で生活ができるかどうか、ご本人とご家族と一緒に確認していきます。退院後に関わってくださる訪問看護師さんともお会いし、実際にこれからケアを行っていく場で、ケア方法をご本人、ご家族と共に確認しました。

- 12:30 病院へ戻る
14:00 来週退院予定のBさんの退院後に関わってくださる訪問診療クリニックの看護師さん、訪問看護ステーションの看護師さん、ケアマネージャーさんを交えて退院前カンファレンス

「退院してからどんな生活になるのか、訪問看護師さんってこんなことをやってくれるんだ、とわかりました。イメージがわきました」とBさん。退院までに貼る薬の張り替えの練習をしましょう、と入院中に練習しておく内容を患者さんご家族と確認しました。

- 16:00 外来通院中のCさんご家族と面談

通院も大変になってきたのだけれど、「できるだけ家で過ごしたい」というCさん。在宅医療や介護サービスの活用についてお話ししました。

- 17:00 業務終了



退院支援看護師と朝の打合せ



これから曽根慢性疾患看護専門看護師と訪問指導へ行ってきます



退院後に関わってくださる看護師さんを交えて退院前カンファレンスを行っています



10月21日(金) 開館

船橋市西図書館と連携して 医療情報を提供します

医療センターでは、医療や健康について、皆さんに身近に学んでいただこうと、リニューアルオープンする船橋市西図書館と連携し、館内に医療情報コーナーを設置するほか、医療講演会・医療相談を定期的に開催します。費用はかかりませんのでお気軽にご利用ください。

＜医療講演会と医療相談＞

日 時：原則として毎月第3木曜日午後2時～4時
内 容：医師・医療従事者による講演会。終了後に医療、薬剤、栄養、医療福祉等の分野で担当者が相談に応じます
申込み：事前に予約が必要です。開催日等は館内のちらし、広報ふなばし、船橋市図書館ホームページ（<https://www.lib.city.funabashi.chiba.jp/>）等でご確認ください

＜医療情報コーナーの設置＞

3階の一般図書コーナーに、医学、病気と治療、薬などに関する図書をそろえた医療情報コーナーを常設します。また、「がん」に関するパンフレットもご用意しています。

【開館日 10月21日(金)イベント】

時 間：午前10時50分～
会 場：船橋市西図書館 多目的室
申込み：講演会、相談ともに当日開館時間（午前9時30分）より多目的室前で整理券配付
※開館日のみ当日受付

○医療講演会

時 間：午前11時～11時30分
講 師：平野 聡 腫瘍内科部長
演 題：がんに対する新しい免疫療法
定 員：当日先着50人

○医療相談

時 間：午前11時40分～
相談員：医師2名、看護師1名、薬剤師1名、管理栄養士1名
定 員：各相談員先着3名程度で相談時間は一人10～15分



船橋市西図書館

☎047-431-4385

船橋市西船1-20-50 西船橋駅から徒歩5分

毎年
恒例!

納涼会で親睦を深めました

今年で4回目の納涼会が7月14日(木)に行われました。地域の先生方や病院の医療従事者の方々をお招きし、当院からも多くの医師が参加して、総勢133名の皆さんと大変盛況な会となりました。

鈴木病院局長より地域の先生方に対し、日頃の病診連携の充実への感謝を込めた挨拶の後、「当院の地域がん診療連携拠点病院の現状」、「がん相談支援センターの取り組み」について講演を行いました。

その後の懇親会は和気藹々とした雰囲気、地域の先生方との意見交換ができる貴重な場となりました。途中、当院医師の紹介をしたり、地域の先生方からのご意見を伺ったりしながら、明るく楽しい「顔が見える地域医療連携」ができたと思います。

多くの方々にご参加いただき、大変有意義な時間となりました。



当院医師の紹介

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

当院で働く人々

～保安・案内係の仕事～

私は本年4月1日より総務課保安係として勤務している尾上です。

以前の仕事は千葉県警察官でした。

勤務して最初に強く感じたことは、医療関係者以外の多種の方々も当院を支えていることでした。その職種は一つ欠けていても総合病院は成り立たないと知りました。働いている方々が安心して業務に専念できるようにするとともに、当院を利用されている患者さんが安心して受診、治療ができるようにサポート出来たらと思っています。

案内業務も私の仕事の一つです。障がいを持つ方、高齢者の方を車椅子で案内すること等がありますので、5月から介護の勉強をしています。

先日、高齢の女性に「私ね。色々と病気を持っていて生きる気力がないよ…」と話しかけられました。答えに窮しましたが「私の夢はリニア新幹線に乗ることなんです」と返答したのです。するとその女性は「そうよね。生きるには目標が大切よね。ありがとう。」と言って、笑ってお帰りになられました。これも私の仕事の一つかなと思いました。

これからも総務課保安係として全力を尽くしていきたいと思っていますので、今後ともご指導をよろしくお願いします。

総務課保安係 尾上 雄一



研修医のつぶやき



初期臨床研修医 1年 森永 亮太

今年の春から初期臨床研修医として当院に勤務しています。

ジメジメとした梅雨が過ぎて、蝉の声を聞きつつ、暑い夏がやって来た事をヒシヒシと感じながら書いています。生まれが鹿児島なので暑さには慣れているつもりでしたが、船橋の夏も鹿児島に負けず劣らず容赦のない暑さですね。

早いもので、勤務し始めてからいつの間にか4ヶ月が過ぎました。医師としては勿論ですが社会人としてもまだ4ヶ月、働く事の大変さとやりがいというものを日々感じています。

私たちは最初の1年間、2ヶ月毎のローテーションで6つの科を回ります。各科で扱う疾患は様々で2ヶ月では各科の奥深さは学びきれませんが、優しさや少しの厳しさを兼ね備えた上級医の先生方に必死で食らいつく毎日です。

そんな私たちも7月から救急当直が始まりました。平日の夜間・土日祝日に来院される患者さんに問診・検査をし、上級医の先生と相談して治療を行い、帰宅もしくは入院までを診るという流れになります。軽症の方から重症の方まで、本当にいろいろな症状を訴える患者さんが来院されます。皆さん共通しているのは“自分ではどうすることもできない、この症状をどうにかしてほしい”という気持ちを持たれて来院されているという事です。その一助になれるように日々勉強していますが、まだまだ浅い経験と知識では一人で太刀打ちできないことが多々あります。そんな未熟な私たちも、頼りになる先輩、上級医の先生方に支えられながら毎日少しずつですが成長を実感しています。

このように私たちはまだまだ半人前ですが、患者さんのお話を聴くことで少しでも助けになれていたら幸いです。話を聞くことで、かえって私たちが元気をいただく事もありますので、些細なことでも教えてください。外来で来られている患者さんも、困ったことなどあれば気軽にお声掛けください。

当院の初期臨床研修医は皆、情熱をもって日々切磋琢磨しています！

今後ともよろしくお願いします。

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

8/28

防災訓練を実施しました

今年は、「災害拠点病院としての機能強化」を図るため、平日の午前9時、市内で震度6強の地震が発生したという想定で船橋市や医師会等と連携し訓練を実施しました。

当日は、院内に災害対策本部を設置し、その指揮の下、協力病院や応急救護所から搬送された傷病者の受け入れ、トリアージセンターで重症度に応じた振り分け、迅速な処置及び院内搬送、救急車による他院への搬送などの訓練を行いました。

病院職員や看護専門学校の学生など約170名が真剣に訓練に取り組み、熱のこもった表情で自分の役割を果たしていたのが印象的でした。

また、訓練を見学するため、山崎副市長、安藤危機管理監、医師会、歯科医師会、薬剤師会の方など、大勢の方々が訪れました。



消防局と連携し院外搬送の訓練



搬送されてきた患者さんをトリアージ



重症度別のエリアで処置を行い院内へ搬送

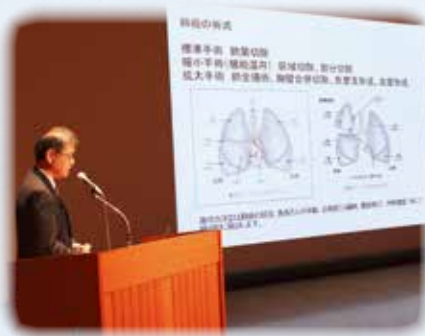
「肺がんの診断と外科治療～現在から未来へ～」を開催しました

第27回 公開医療講座



7月14日（木）に市民文化創造館（きらら）にて、内田修呼吸器外科部長を演者とした公開医療講座を開催しました。

今回の講座では日本のがん死亡者数の第1位である肺がんの治療法や手術等について、イラストや写真でわかりやすく解説しました。内田部長は「男性の場合、肺がんのリスクがたばこを吸わない人に対し、喫煙者は4.5倍にもなります。肺がんには原発性肺がんと転移性肺腫瘍の2種類があり、それぞれ検査の種類や治療法が異なります。治療法には、手術、放射線療法による局所療法と抗がん剤等による全身療法があります。手術は切除可能な状況であれば最も治癒の可能性が高い治療で、呼吸機能や合併症の有無、全身状態により術式の検討、選択を行っています。中でも胸腔鏡手術の割合が増えてきており、傷が小さい、術後の痛みが少ない、身体への負担が少ないなどの利点があります。治療方針は進行度によって決めるため、検診等による早期発見、早期治療が大切です。」と語りました。



公開医療講座 次回のお知らせ

第28回 よく眠れていますか？～睡眠の大切さと良眠のコツ～

日時：10月13日（木）14：30～15：30 定員：当日先着190人 費用：無料
講師：宇田川 雅彦（精神科部長） 会場：市民文化創造館（きらら） 問い合わせ：医事課

ぜひ
ご参加
ください

病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

救命救急センターの現場から ～アナフィラキシー～

アレルギー反応とは、花粉、食物、蜂、薬物などに生体が反応して、自分にとって不利益な症状が起きてしまう現象です。アレルギー反応の中でも、急速に進行する死に至るようなアレルギー反応をアナフィラキシーと呼んでいます。

原因物質に暴露されてから数分から数時間で

- 1) 呼吸障害（呼吸苦、喘鳴）
- 2) 循環障害（血圧低下、失神、意識障害）
- 3) 胃腸管症状（腹痛、下痢）
- 4) 皮膚・粘膜症状（蕁麻疹、発赤、口唇や舌の浮腫など）

のうち2つ該当するものがあればアナフィラキシーと診断して構いません。この場合、大至急119番通報して病院を受診してください。

呼吸障害の症状として初期は、喉がかゆい、嘔声（声がかれて来た）という訴えの時もあります。これは口から喉の粘膜の浮腫が進行しているため、もっと進行すると呼吸が出来なくなってしまう



エピペンTM

可能性があります。また意識が遠のいて来たという症状は血圧低下が進んでいるということです。大急ぎで対応する必要があります。救急車が来れば救急救命士が適切に対応してくれます。すみやかに119番してください。

また、アナフィラキシーの治療薬であるエピペンTMという注射薬を病院から処方されている方は、上記症状が出現しているのであれば、迷わずエピペンを使用してから救急車で病院を受診してください。

当救命救急センターは24時間、365日アナフィラキシーの患者さんを受け入れていますのでご安心ください。 救命救急センター長 境田 康二

E館脇から立体駐車場方向へ 車の通り抜けが可能になりました

今までは車で病院敷地内から立体駐車場へ向かう場合、一旦市道に出なければなりませんでした。8月15日より病院敷地内（E館脇）から立体駐車場方向へ一方通行で通り抜けることが可能となりました。

なお、通行される際は敷地内の徐行などルールとマナーをお守りくださいますよう、ご協力をお願いいたします。



心臓病教室のお知らせ

日付	演 題
10/6 (木)	①心筋梗塞を予防する ②そうだったのか！心臓病の薬 ～アスピリンってピリン系？～
11/10 (木)	①大動脈瘤について ②食べ過ぎないコツ、教えます！
12/1 (木)	①心臓リハビリテーションって何？ ②やってみよう！自宅でできる簡単な運動

時 間 13:30～14:30（受付13:00～）

会 場 D館3階講義室 参加費 無料

講 師 当院スタッフ（医師、看護師ほか）

問い合わせ 医事課

平成28年度 募集概要

看護補助者（パート）募集

- 資 格／特になし
- 時 給／1,030円
- 勤務時間等／8～18時のうち当院が指定する8時間（実働7時間、休憩1時間）
土日祝日、年末年始を含む週5日

※看護師を対象とした病院説明会を開催しています。

※詳細は当院ホームページ（<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>）をご覧ください。

外 来 担 当 医 師 一 覧 表

平成28年10月1日現在

			月	火	水	木	金	備考
内 科	新 患		徳長 鎮(交替医)	中村(俊)/柳澤	下山 立志	〔交替医〕	巴山紀子・廣石拓真	新患の(火)は第1・3・5中村(俊)、第2・4柳澤
	呼 吸 器		中村 祐之 藤田 哲雄	天野 寛之 中村 純	廣石拓真(交替医) 巴山 紀子	中村 祐之 中村 純	多部田弘士 天野 寛之	消化器の(火)関、(水)安藤/石垣、(木)水本/東郷は消化器
	消 化 器		水本 英明	安藤 健 関 厚佳	東郷 聖子 安藤 健/石垣飛鳥	関 厚佳 水本英明/東郷聖子	石垣 飛鳥 小林 照宗	内科からの予約患者のみ
	代 謝		岩岡 秀明	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、
	腫 瘍		平野 聡				平野 聡	原発不明がんが対象
心臓血管センター	循環器内 科	予約	内山 貴史 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	岩田 曜 稲垣雅行・内山貴史	黒岩 信行	福澤 茂	※(火)は第1・3・5稲垣、第2・4内山
		新患		〔交替医〕	〔交替医〕	関根有希子	〔交替医〕	
	心臓血管外科		〔手術日〕	高原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から ※第1・3・5高原 ※第2・4 茂木
緩和ケア内科					〔交替医〕	〔交替医〕		午前9:00～ 予約患者のみ
精 神 科	新 患			宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要 (電話も可)
	再 来		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦・岡和田景子		(木)岡和田 午前のみ
小 児 科			高橋 香 武井 悠	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 〔交替医〕	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外 科	消化器・一般		宮崎 彰成 吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元 貝沼 修	宮崎 彰成	(月)松崎 午前のみ (水)丸山 午前のみ (火)吉原 午後のみ
	乳 腺		松崎 弘志		松崎 弘志 仙波 義秀 吉原ちさと	金田 陽子	唐司 則之 松崎 弘志	
	新 患		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
			〔交替医〕 秋本 浩二 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 染谷 幸男	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	〔交替医〕 〔手術日〕	〔交替医〕 〔手術日〕	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
整 形 外 科								
形 成 外 科			〔手術日〕	薬丸 洋秋	薬丸 洋秋	〔手術日〕	内田 龍志	
脳 神 経 外 科			内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	〔交替医〕 〔手術日〕	畑山 和己 内藤 博道	安間 芳秀 森脇 拓也 〔手術日〕	根本 文夫 畑山 和己	(月)根本、(水)内藤、(金)畑山は、 新患者のみ
呼 吸 器 外 科			内田 修 一ノ瀬修二	内田 修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	木下 孔明 内田 修・一ノ瀬修二	〔手術日〕	
皮 膚 科			川島 秀介 山崎由里子	宮川 健彦 山崎由里子	川島 秀介 山崎由里子	川島 秀介 宮川 健彦	川島 秀介 山崎由里子	予約患者のみ (紹介状ありは可)
泌 尿 器 科			武田 英男 黄 和吉	佐藤 信夫 樋口 耕介	佐藤 信夫 〔手術日〕	佐藤 信夫 安藤 敬佑	佐藤 信夫 〔交替医〕	
産 婦 人 科			斉藤 俊雄 佐々木直樹	森 麻子 〔交替医〕 〔手術日〕	斉藤 俊雄 佐川 泰一 〔手術日〕	長嶋 武雄 〔交替医〕	佐々木直樹 長嶋 武雄 〔手術日〕	
眼 科			小林 悠里 谷口 有子	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 松枝 美文	上原 七生 小林 晋二	小林 晋二 谷口 有子	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科			小林 皇一 長坂 強	〔手術日〕	小林 皇一 長坂 強	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林 皇一 木村健太郎	
放射線治療科			岩井 祐磨	有賀 隆	小池 直義	有賀 隆	有賀 隆	完全予約制
麻 酔 科			〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:00～11:00 予約患者のみ
歯 科 口 腔 外 科			村野 彰行	〔手術日〕	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特 殊 外 来	女性専用(内科)				古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)				梶原麻実子			午後1:30～ 予約患者のみ(電話も可)
	神経内科(内科)				大原 正裕			午後1:30～ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)		櫻井 学					午後1:30～
	ペースメーカー外来				〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 竹本直輝(交替医)	村社 歩美	佐藤 純一				午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)					林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)					秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児アレルギー(小児)						下条 直樹	月1回 午前9:00～予約患者のみ
	小児外科(外科)					小松 秀吾		午前のみ (午後手術)
	脳神経内科(脳神経外科)						東 美和	午前9:30～ 予約患者のみ

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。